

島

新美南吉

青空文庫

島で、或^{ある}あさ、
鯨がとれた。

どこの家^{うち}でも、
鯨を食べた。

鬚^{ひげ}は、呻^{うな}りに、
売られていつた。

りらら、鯨油^{あぶら}は、
ランプで燃えた。

鯨の話が、
どこでもされた。

島は、小さな、

まづしい村だ。

(註。^{ちゅう}鯨の鬚は、^{たこ}風の呻りに用ゐられます。)

青空文庫情報

底本：「日本児童文学大系 第二八巻」ほるぷ出版

1978（昭和53）年11月30日初刷発行

底本の親本：「赤い鳥」赤い鳥社

1932（昭和7）年12月

初出：「赤い鳥」赤い鳥社

1932（昭和7）年12月

入力：菅野朋子

校正：noriko saito

2010年12月9日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

島

新美南吉

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>